



「皆で考えよう「混合診療」」

歯科医師 山下 美登よしのり

皆様は「混合診療」という言葉を聞いた事がありますか。医科・歯科の世界では今後の医療に非常に重要な問題となっています。

A氏という進行性の難病を患った方がいました。その人はB、Cという保険適用された薬を飲んでいて進行を遅らせています。

そのときEという新薬（保険適用されない）が開発され、BとCと一緒に飲むと進行がさらに遅らされると聞き、医師と相談し、その新薬を服用することになりました。Eだけのお金を保険外で支払えばいいと思いますが、A氏はすべてのB、C、Eの薬を自費で全額支払らなければならないのです。これが、現在の日本の医療制度です。

自由診療（保険外診療）と保険診療を一緒に行うと全額が自由診療となってしまいます。全額が保険診療できるのが一番いいのですが、これはなかなか難しいのです。新薬が開発されても日本では保険適用するのに数年単位で時間がかかります。皆様これをどう思いますか？今までの薬と一緒に新薬を使うと全部自費。これを混合診療では自費の薬だけ自費、保険の薬は保険というシステムです。

歯科でも例えば入れ歯が20万円したとします。これを混合診療が可能となれば、保険で対応する分があり、半額くらいになるのではないのでしょうか。これは何を意味しているかという、皆様の診療を受ける側の選択肢が増えるという事と医療の発展につながるのです。

医者や歯医者がいっても国は聞いてくれません。国民一人一人の声で動いてくれます。医療を受ける側、提供する側にとっていい制度だと思うのですが、ちょっと考えてみて下さい。

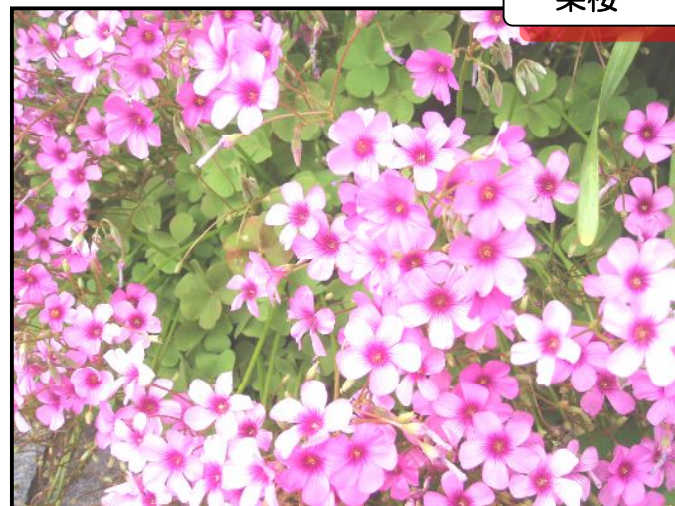
お知らせ

◆初夏のお出かけ

6月4日（水）～6月6日（金）を予定しています。お楽しみに！

◆ウクレレ演奏会

6月23日午後を予定しています。お楽しみに！



柴桜

柏ぐより

永澤フグ

◆ 2008年 5月号
● 柏地域福祉サービスセンター
〒190-0004 立川市 柏町1丁目12番地1F
・TEL: 042-535-5510
・FAX: 042-535-0908
発行人: 松田 光子

さん 筆

「1. 柏センターの日々の献立」

今日のお食事を思い出してみてください。柏センターの昼食は、主食、主菜、副菜二品、汁物を基本に、おいしく、安全で、バランスの良い食事を目指して日々の献立を考えています。

献立をたてる時は、①主食（ごはん・麺など）を決めます。②主菜（魚・肉・卵・大豆製品）を決め、調理方法（焼・煮・蒸・揚）を決めます。③副菜を決めます。副菜は、野菜類（海藻、きのこ、こんにゃくを含む）を主体に芋類、豆類、時には肉、魚、卵などを組み合わせて、煮物、和え物、酢の物、炒め物を考えます。できるだけ温かいものと冷たいものの組み合わせになるように気を付けています。また、同じ食材や調理法が続かないよう心がけています。次の利用日に、チェックしてみてください。まだまだ改善点はあるかと思いますが、これからもみなさんと一緒に、柏センターのお食事をより良いものに、そして今以上に楽しみとなるようにしていきたいと思えます。

管理栄養士 柳澤 真紀



柏 広 場

絵



中村 弥一さん

「キジと仲間たち」
スケッチブックには、弥一さん
だけの世界が広がっています。
その中の一作品です。

作品の紹介

民謡

活動の様子



平出 恒二先生

安部 操先生



民謡 大繁盛!!

三味線の音色にのって日本の津々
浦々へ・・・「よ〜いっ!!」

習字



小峰 豊子さん

「入魂!!!」
集中されている姿、素敵ですね!
「百花為誰開」は、お花の大好きな
豊子さんのためになのでは・・・

小峰 豊子

誰 開 百 花 為

陶芸



「チャレンジ!!!」

雄一さんの人柄のような
やわらかく暖か味ある作品です。
これからも力作を
楽しみにしています。

大迫 雄一さん

